

Pride

～伝統を胸に 感動 感謝～

東広島市立高屋西小学校
第6学年

第17代目 組曲「白鳥」

18日（土）は、小学校生活最後の「る・る・る しらとりフェスタ」です。6年生は高屋西小学校伝統の組曲「白鳥」を発表します。今年は第17代目になります。

子どもたちは、発表会に向けて一生懸命練習を行い、準備を進めてきました。また、次郎丸太鼓を演奏されている大田先生、篠笛を教えてくださいました川口先生、踊りを教えていただいた加古谷先生、歌や合奏の指導をしてくださった灰山先生には、何度も来校していただき、練習の様子を見ていただいて、6年生の発表が素敵な発表になるように支えていただきました。家で練習するときには、お忙しい中、聞いてくださったお家の方もいらっしゃると思います。たくさんの方の支えがあつてのしらとりフェスタです。感謝の気持ちがこもった発表、そして、何より、「やりきった」と思える達成感のある発表になればと思っています。

第17代目 組曲「白鳥」に向けた子供たちの思い

6-1

いろいろな人が関わってできた組曲「白鳥」は、当時の六年生によって受けつがれてきたものだから、私も精一杯頑張つて今の五年生に長い歴史がつまった組曲「白鳥」を引き継いでいきたいです。

6-2

歴代最高の演奏をして、保護者を感動させるだけではなく、これからの人の心の中に残り、そしてやりたいと思ってもらえるように頑張りたい。高屋の素晴らしい歴史や美しい高屋の町を思い浮かべながら演奏したい！

6-3

白鳥には様々な曲があり、その一つ一つに意味があることを知り、意味を音で表現していきたいと思つています！
高屋の歴史を思いっきり伝えたいです！
みんなで思いを一つに頑張ろう！

6-4

組曲は地域の人たちの協力があり、作り上げられていることを知りました。地域の人たちに感謝することを忘れてはいけないなと思つ、感謝の気持ちを歌や合奏、踊りで伝えていきたいです！